

令和6年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

鯖江市地域公共交通活性化協議会 (鯖江市)

平成27年4月1日設置

令和3年9月24日 令和4年度フィーダー系統確保維持改善計画策定

令和3年12月 鯖江市地域公共交通計画 および
鯖江市地域公共交通利便増進実施計画 策定
(計画期間：令和4年4月～令和8年3月)

令和6年2月16日 第三者評価委員会にて令和5年度自己評価結果 発表

令和6年9月27日 令和7年度フィーダー系統確保維持改善計画 認定

令和7年1月 令和6年度自己評価結果送付

◆豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境

【鯖江市の概要】

人口：68,312人（R6.11.1時点）
鉄道：ハピラインふくい線（市内2駅）
福井鉄道福武線（市内6駅）
バス：コミュニティバス つつじバス
（循環線1,支線8）
路線バス（福井鉄道）
（2路線3系統）※R6年度

【鯖江市地域公共交通計画】

計画期間：令和4年4月～令和8年3月（5年間）

【目指す姿】

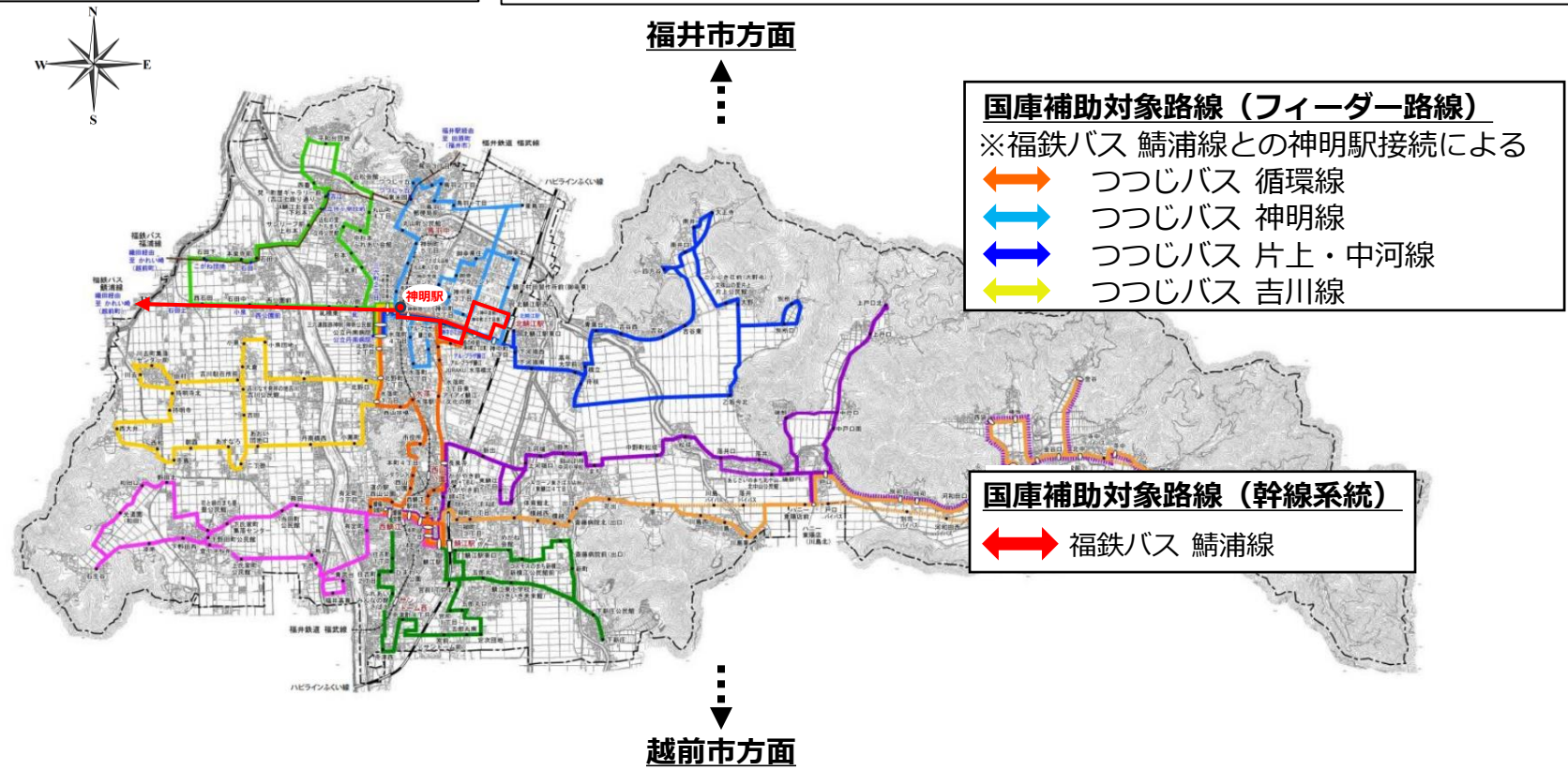
車がなくても、公共交通を利用して日常生活に必要な移動ができる

【計画期間内の重点事業】

つつじバスの再編/運行 ⇒ 令和4年4月実施

【令和6年度の方針】

新ダイヤ定着後の利用者利便性の向上および新規利用者獲得



実 施 状 況

1.昨年度に行った主な取り組み

① SNSを活用した情報発信の開始 (新規)

- ・ InstagramおよびX(旧Twitter)を活用したコミュニティバスの情報発信を開始
- 幅広い年代層に向けたコミュニティバスへの周知、市外の方に向けてもSNSを通して市のPRに繋がる。

② バス車内の掲示スペースをギャラリースペースとして活用 (新規)

- ・ 市内イベントに出展し、来場者(主に親子)に描いてもらったバスの塗り絵をバス車内に掲示
- 一度コミュニティバスに乗ってもらうきっかけ作りの創出。

③ 高齢者サロンへの出前講座実施 (継続)

- ・ 各地区路線から循環線への乗継ぎ利便性が向上した点について、丁寧に説明を実施。



2.今年度に行った主な取り組み

④ バス車両デザインの更新と新車両お披露目式の開催 (新規)

- ・ 車両購入のタイミングに合わせて、車両デザインを更新
- ・ 新車両は市内こども園でお披露目式を開催し、報道機関等から広く周知
- コミュニティバスに親しみを持ってもらい、親子でのバス利用のきっかけに。

⑤ バス停看板デザインの更新と新デザインお披露目会の開催 (新規)

- ・ バス停看板のデザインを鯖江高校に依頼、新デザインが完成、お披露目会を開催
- 鯖江高校生のさらなるバス利用促進と、市民に愛されるコミュニティバスへ。

⑥ その他、利用者利便性向上のための新たな取り組み (新規)

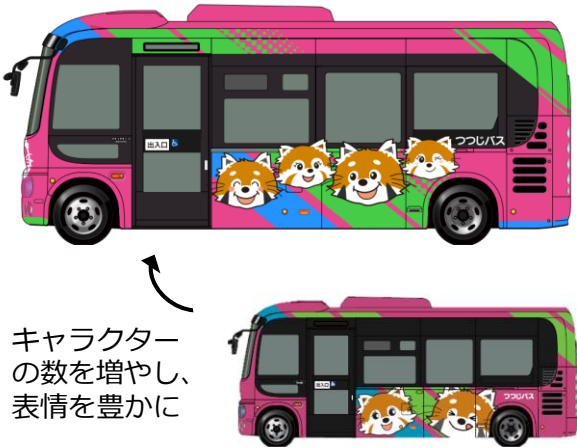
- ・ 市内温浴施設との提携を図り、相互利用者数増加策を実施。(バス利用者に施設利用料割引)
- ・ 一部区間におけるフリー降車制の実証実験を実施。(バス停以外でも降車できる制度)



具 体 的 な 内 容

④バス車両デザインの更新と新車両お披露目式の開催

車両デザインを更新



キャラクターの数を増やし、表情を豊かに

お披露目式開催



市内こども園で園児約50名に向けて開催
園児らは記念撮影や試乗体験のほか、バス塗り絵を描いてもらい、後日バス車内に掲示

周知徹底



⑤バス停看板デザインの更新と新デザインお披露目会の開催

バス停看板デザインを更新



鯖江高校生案の中から審査会で採用決定
レッサーパンダが看板を包み込む
ピンクでかわいらしいデザインに

お披露目会開催



北陸新幹線開業に合わせ市内全バス停を更新
提案者の学生らと鯖江駅前でお披露目会を開催
コミュニティバスのPRとイメージ向上を図る

バス停看板 鯖江高校生考案
つつしバスレッサーパンダ表現



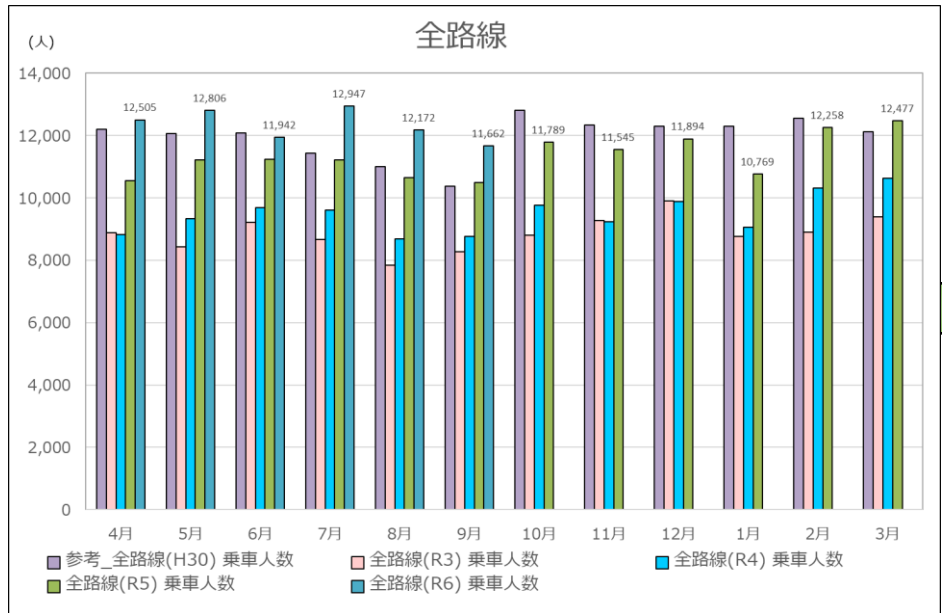
報道機関等で広く広報し話題を集め、多くの市民に関心を持ってもらえるように努める

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察（1/2）

5

評価指標・現況値・目標値			達成状況					考察
			1年目 (R4)	2年目 (R5)	3年目 (R6)	4年目 (R7)	5年目 (R8)	
つつじバス 年間利用者数	14.4万人 (H30年度)	17万人 (R8年度)	113,806人 (R4.4～ R5.3)	136,120人 (R5.4～ R6.3)	74,034人 (R6.4～ R6.9)			R4.4に実施したダイヤ改正の定着に伴い、利用者利便性向上や新規利用者獲得に向けた取り組みにシフト。昨年に引き続き利用者増加傾向。 (対前年度比113%で推移) 参考値：R3年度実績 106,351人
福井鉄道福武線 市内駅利用者数	47.4万人 (H30年度)	50万人 (R8年度)	428,515人 (R4.4～ R5.3)	442,632人 (R5.4～ R6.3)	未測定			年度途中のため未測定。市内主要駅を基点としたイベントの開催やつつじバスダイヤ改正時に電車との乗継ぎ改善を行ったことにより利用者数が徐々に回復傾向。 参考値：R3年度実績 407,237人
利用者1人 あたり 公的資金投入額 (つつじバス)	552円/人 (H30年度)	540円/人 (R8年度)	847円/人	693円/人	未測定			年度途中のため未測定。目標からは大きく隔離しているが、利用者数が増加傾向なことから、昨年に引き続き改善傾向。
公共交通が充実 していると感じ ている人の割合	58.7% (R1年度)	80% (R8年度)	未測定	未測定	未測定			現在（R6年度）アンケート調査実施中。アンケート結果をもとに今年度中に評価、報告予定。最終年度（R8年度）にもアンケートを実施し、次期交通計画策定の参考とする予定。
公共交通集落 カバー率	95% (R3年度)	97% (R8年度)	96% (R4.4時点)	96% (R5.4時点)	96% (R6.4時点)			R4.4のつつじバス再編に伴い、路線の組み替えおよび新規バス停を設置したため、現況値より向上。R6年度はR4年度から路線変更なしのため、変動無し。
つつじバスポータルサイト(バス どこサービス)ア クセス数	15.7万回 (H30年度)	16万回 (R8年度)	147,504回 (R4.4～ R5.3)	110,191回 (R5.7～ R6.3)	未測定			利用者数を測定しているGoogleアナリティクスの集計方法変更に伴い、R5.4～R5.6の利用者数が計測不可となった。概算数ではR4はR5並。参考値：R3年度実績 126,936回
公共交通利用促 進の市民団体の 活動回数	12回 (H30年度)	15回 (R8年度)	6回 (R4.4～ R5.3)	13回 (R5.4～ R6.3)	3回 (R6.4～ R6.9)			市民団体がイベント等に出展し利用促進を図る。 (今年度残り見込み+10回予定) 参考値：R3年度活動実績 3回

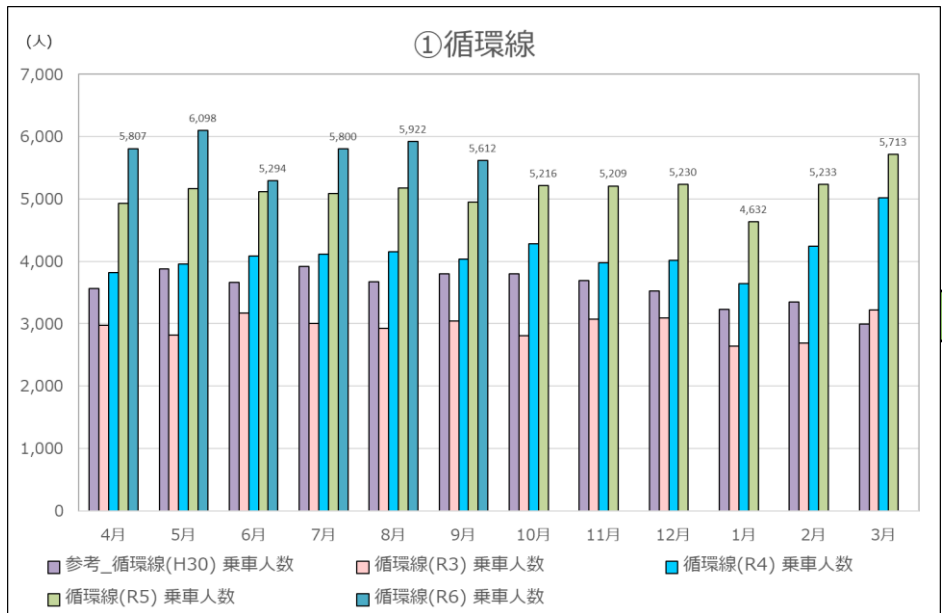
コミュニティバス つつじバス利用者実績（H30～R6）



R4.4に再編を行った新しい路線およびダイヤが徐々に定着をしてきており、ほぼ全ての路線において、増加傾向となっている。

再編前のR3年度比で再編後のR4年度は107%
R4年度比でR5年度については119%の着地。
R5年度比のR6年度は113%で推移している。

このペースで推移すると年間15万人を超える利用者となり、H30年度水準(14.4万人)や、コロナ禍前のR1年度水準(13.7万人)を上回る想定となっている。



- ・循環線のパターンダイヤ化
- ・各地区路線との接続拠点での接続性向上

上記2つの再編を実施したことにより、再編前のR3年度を大きく超える水準でR4,R5年度着地。R6年度も順調に推移しており、増加傾向にある各路線の中でも最大の伸び率となっている。

- 〈主な利用者の声〉
- ・1周60分のパターンダイヤ化により時刻表を見なくても分かりやすいダイヤになった。
 - ・地区から出てきて、市内中心部の施設に行きやすくなった。

評価指標	計画目標の現在の到達地点	今後の取組方針
つつじバス 年間利用者数	R4.4に路線再編を行い、R4年度の実績は再編実施前(R3年度)と比べ107%となった。その後も対前年比でR5=119%、R6=113%程度と推移しており、R6年度は順調にいけばコロナ禍前の水準を超える見込み。ただし、最終年度の目標に対しては未達の状況である。	★R4.4の路線再編がある程度定着したものと考え、利用者利便性の向上や新規利用者の獲得に向けた取り組みにシフトしていく。 具体的な取り組みとして ・現在実施している利用者アンケートや、今後予定されているハピラインふくいのダイヤ改正に合わせて、つつじバスのダイヤ改正を検討していく。 ・つつじバスのバス停までが遠いなどの理由でつつじバスを利用できていない方のために、つつじバスの2次交通的な役割としてライドシェア等の次世代交通手段について実証実験等を行い、新たな交通網の整備を検討する。 ・つつじバスの利用者層として比較的利用の少ない親子世代をターゲットにしたイベントを開催し、新たな利用者層の獲得を目指す。
福井鉄道福武線 市内駅利用者数	コロナ渦から徐々に回復傾向であるが、依然としてR8年度目標にはまだ遠いため、利用者が駅に集うような対応が必要。	R5年度は、市内駅を中心である「神明駅」を会場とした鉄道利用者(切符購入者)が楽しめるイベントを行い、来場者数約2,000人が訪れた。 R6年度は、 <u>市内駅6駅を会場としたスタンプラリーイベント</u> を行い、2,000人を超える来場者が訪れ、周辺の飲食店等にも相乗効果が波及された。 引き続き鉄道利用者の獲得につながる施策等を検討、実施していく。
利用者1人 あたり 公的資金投入額 (つつじバス)	燃料費、人件費等の高騰に伴い、当初計画から大きく隔離している。数値改善のためには、利用者数の拡大と収入額の増加が必要である。	広告料の増加に向けて、R6年度から新たに <u>車両ラッピング広告を導入した</u> 。早速同年度から応募があり、年間最大100万円の広告料増を見込んでいる。引き続きその他広告事業についてもHP等で周知を行い、持続可能なコミュニティバス事業を目指す。 合わせて、利用者数増に向けて、さらに情報発信を強化する。

評価指標	計画目標の現在の到達地点	今後の取組方針
公共交通が充実していると感じている人の割合	—	地域公共交通計画に定めた事業実施のスケジュールを滞りなく行うことで、目標年度(R8年度)の調査での目標達成を目指す。
公共交通集落カバー率	つつじバス再編に伴う新規バス停設置により、目標達成が見えてきている。	R5年度に要望のあったバス停移動について、協議の上、R6年度に移動を行った。今回はカバー率の変動はなかったが、引き続きバス停設置の要望については前向きに検討し、利用者利便性向上を図る。
つつじバスポータルサイト(バスどこサービス)アクセス数	Googleアナリティクスの集計方法変更に伴い、一部集計ができない期間があるため、数字上の実績は減少している。ポータルサイトを見てもらうことが目的ではないものの、利用者への周知徹底を図りたい。	若年者に向けては、新たなSNS(InstagramやX(旧Twitter))を利用したバス情報の発信を継続することで、周知を図る。 高齢者層については、ポータルサイトの利用が困難な方も一定数いることは年頭に置きながらも、現在行っている高齢者サロンでの出前講座内容を工夫し、 <u>ポータルサイトの見方や利用の仕方を紹介する内容を盛り込んだ。</u> 引き続き、来年度についても高齢者サロンを通じてポータルサイトの周知を図る。
公共交通利用促進の市民団体の活動回数	公共交通促進のPR対象が主に電車になってしまっており、バス等のPRが足りていない課題がある。	R5,R6年度に実施したイベント等でのバス塗り絵コーナーを引き続き実施し、親子連れを対象に公共交通への意識醸成を図る。描いてもらった塗り絵等の作品はバス車内に掲示することで、利用者促進策としても活用する。 来年度については、親子向けのバスイベントを実施し、乗車してもらうきっかけ作りを行う。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
前回 （令和4・5年度）	情報発信や利用促進については、活動回数だけでなく、参加者数などどのくらいの方々に伝わっているかを把握されるよう期待します。	令和5年度から実施しているSNSを活用した情報発信については、コミュニティバスの情報に限らず、鉄道等の公共交通や市内イベント等の情報を絡めて発信することで公共交通全体の利用促進を図っている。こういった工夫からフォロワー数も350人を超え、「いいね！」のリアクション数も増加傾向にある。利用促進イベント等についても参加者数は把握しているが、そういった情報を今後の施策にどう反映させていくかが今後の課題となっている。	引き続きSNS等による情報発信を継続し、定期的なリアクションの確認等を行っていく。 来年度は親子向けのバスイベントを検討しており、イベント内容と合わせて情報発信方法や集計方法の検討を進めていく。
	日頃コミュニティバスを利用されていない方々に対しては、このバスはどういうバスで、乗り継ぐといろいろなところに行けるといった基本的な情報をまとめたチラシによる周知など、分かりやすく伝えていくことを期待します。	コミュニティバスの基本情報については市の広報誌やホームページ等で周知を行っているが、市民にとっては目にする機会が少なく、目立った効果は得られていない。 学生等の若手層については、ポータルサイトの充実と情報発信により基本情報の周知に努めている。 高齢者層については、地域の高齢者サロンにおける出前講座に力を入れており、地域によって資料を加工し、高齢者でもわかりやすい説明を心掛け、令和6年度も約100人の高齢者に説明を行った。	コミュニティバスの新たな利用者の獲得には、きっかけ作りと同様に分からないことを減らしてあげる工夫が必要と考えており、引き続きターゲットに合う周知手段を検討しながら、情報発信に努めていく。

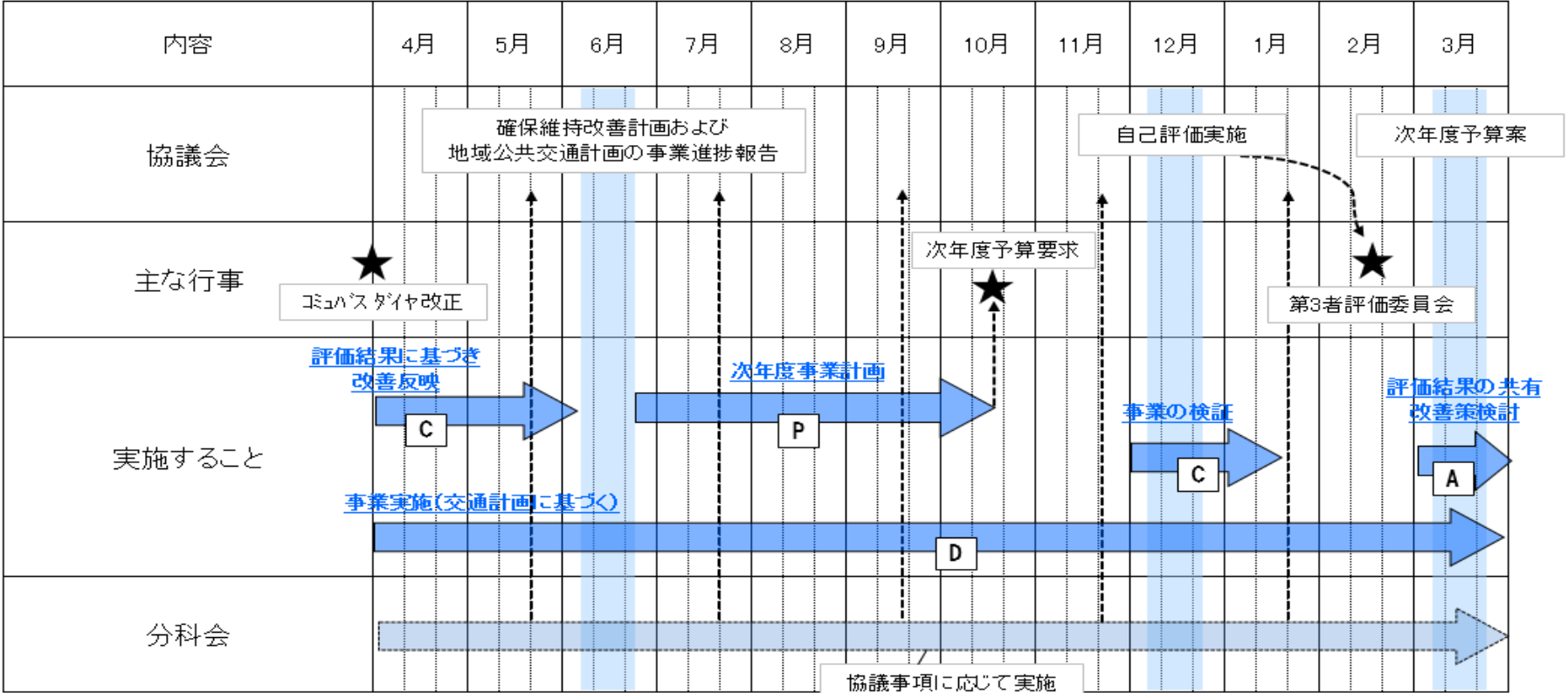
年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
前回（令和4・5年度）	市内を運行する地域間幹線系統のうち、輸送量が低迷している系統（特に鯖浦線、福浦線）について、引き続き、現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有するとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け、県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。	地域間幹線系統については、市民の広域的な移動手段として必要不可欠なものとなっているが、バス運転士不足等の影響により、福鉄バス福浦線が令和6年9月末をもって廃線となった。 こうした状況を受け、県・関係市町・実施主体とが連携して対策を講じるため、福井県の主導で緊急会議やワーキング等を実施し慎重に協議を進めている。 対応として、福浦線利用者への影響を最小限に抑えるため、福井鉄道鯖浦線のルートおよびダイヤの調整により、おおむねの福浦線利用者が鯖浦線に乗り換えることを可能としたほか、福井鉄道神明駅で福井鉄道福武線に接続することで、福井市方面への交通手段を確保した。 これらの対応により、一定の利便性低下は避けられないが、福浦線利用者が鯖浦線に流れることで、鯖浦線単体の利用者数は大きく増加する見込みとなっている。	左記の対応により、利用者の利便性の確保が一定程度図られたものの、バス運転士不足の課題は解決しておらず、現在も市外の広域路線の見直しが続いて進められている。 引き続き関係者全体が危機感を持ち、生活路線の確保や利用促進の取組を進めていく。

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映 状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
前々回 (令和3・4年度)	地域公共交通計画の各種取組事業を着実に進められるとともに、事業の進捗管理し、計画の目標、実施内容、実施結果に関する評価・分析を通じ、必要に応じ見直しを検討するなど、目標達成に向け取組を進められることを期待します。	事業の実施スケジュールに沿って、事業を進めていけるよう、年間の協議会運営スケジュールに基づいてPDCAサイクルを回している。令和5年度については、車両デザインをマイナーチェンジを行った中型バス1台の更新を行った。また、新たなSNSを利用した情報発信をInstagramおよびXにて開始した。	令和6年度に向けては、中型バス同様、車両デザイン更新を含めた小型バス5台の車両更新を実施するとともに、市内温浴施設との提携による新たな利用者獲得、北陸新幹線敦賀開業に伴う並行在来線鉄道ダイヤの変更によるバスダイヤの一部調整、地区路線一部エリアにおけるフリー降車制の実証実験の実施による利用者からのフリー降車制に対しての意見収集、市内高校のデザインコースの学生と協働でバス停丸看板デザインの新しいデザインを作成し、市内にある約290カ所の全バス停看板の変更を行う。これらの事業実施を通し、利用者利便性の向上および更なる愛着醸成を図る。
	市内を運行する地域間幹線系統のうち、輸送量が低迷している系統(特に鯖浦線、福浦線)について現状や問題意識を県・関係市町・関係事業者と共有するとともに、当該系統の必要性に応じ、利用促進や系統維持に向け、県や関係者と連携して取組を実施されるよう期待します。	県主導の「生産性向上に向けたWG」に参加。各系統の実状を把握するとともに路線沿線市町の利用者促進策について共有を行った。コミュニティバスのダイヤ改正を行う際、可能な限り乗継ぎができるようにダイヤの調整の実施を行った。あわせて、地域間幹線系統を運行している事業者が実施しているお得な制度について、市のHPへの掲載、市役所内にチラシの設置を行うことで利用者への周知を図った。	コミュニティバスとの接続状況などについて市民に向けてHP等にて周知を行い、利用者数増加を図る。

※前々回：令和5年3月10日

年度	二次評価結果	事業評価結果の反映状況 （具体的対応内容）	今後の対応方針
前回（令和3・4年度）	循環線ダイヤは支線との接続を重視しているとのこと。各路線の重視しているポイントを含め広く利用者に知ってもらうことも重要であるため、この点を踏まえた今後の周知活動に強く期待します。	循環線の利用者が毎月増加傾向であることから、支線と循環線の接続については既存利用者には周知ができたものと考えている。 令和5年度についても昨年度同様、高齢者サロンに出向き、出前講座でその地区・町内におけるバスの効率的な利用方法について説明を行った。	今後については、出前講座の中でR4.4に路線改編および地区路線と循環線の接続性向上についてそもそも知らない高齢者の方が多い印象を受けた。 接続性の向上が図られたことを知らない層・バスに乗ったことがない層に対して、 各地区路線が重視しているポイントや地区路線から循環線への接続モデルルート の周知が広く出来ていないことから、 地区毎(各町内毎)への班回覧物の配布 についても実施していくことを検討している。

《活性化協議会 年間スケジュール》



【協議会の実施状況】(R4年度)

- 第1回協議会 5/27 主な議題：確保維持改善計画
自家用有償旅客の運送の運賃改正
- 第2回協議会 12/2 主な議題：自己評価の報告案について
コミュニティバス新ダイヤの運行状況
- 第3回協議会 3/24 主な議題：自家用有償旅客の運送の登録更新
令和5年度予算案について

【協議会の実施状況】(R5年度)

- 第1回協議会 6/26 主な議題：確保維持改善計画
計画事業の進捗状況報告
- 第2回協議会 8/23(書面) 主な議題：RENEW期間中のタクシー会社の一時的な営業区域外運送の実施について
- 第3回協議会 12/27 主な議題：自己評価の報告案について
コミュニティバスダイヤ改正案

【協議会の実施状況】(R6年度)

- 第1回 6/17 主な議題：鯖江市地域公共交通計画の改定について
令和5年度決算報告等
- 第2回 8/23 主な議題：RENEW期間中のタクシー会社の一時的な営業区域外運送の実施について
路線バス運行に係る自動車車庫の新設について
- 第3回 12/27 主な議題：自己評価の報告案について
(書面)

■事業の実施スケジュール

目 標	実 施 事 業	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
1. 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	(1) 幹線交通の運行 (JR北陸本線(並行在来線)、福井鉄道 福富線、 福鉄バス 鯖江線、福清線)					
	(2) つつじバスの再編・運行					
	(3) つつじバス車両の更新					
	(4) 外出支援等のためのタクシーの運行・助成					
	(5) 北陸新幹線へのアクセス手段の検討					
	(6) 多様な輸送資源の活用検討					
2. まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	(7) 主要バス停の待合環境の整備					
	(8) 主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置					
	(9) 運行事業の安定化に向けた企業広告等の推進					
	(10) 障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者 無料証の交付					
	(11) キャッシュレス決済の導入検討					
	(12) JR鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み					
	(13) つつじバスのフリー乗降制の検討					
	(14) パーク＆ライドの利用促進					
	(15) つつじバスのリアルタイム位置情報表示 「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充					
	(16) レンタサイクルの利用啓発					
3. 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	(17) つつじバスの利用料金割引制度 (乗継割引、福井鉄道「ハッピー1日フリー乗車券」との乗継 割引、回数券)					
	(18) つつじバスの利用料金割引制度の拡充 (1日フリー乗車券の導入)					
	(19) 商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付					
	(20) 観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付					
	(21) バス車内への観光パンフレットの設置					
	(22) つつじバス車内を利用した観光案内					
	(23) バス停表示看板のデザイン更新					
	(24) SNSを利用した情報発信					
	(25) 公共交通乗務員の接遇向上					
4. 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	(26) 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進					
	(27) つつじバスの利用促進					
	(28) 自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と 行政による支援					
	(29) 公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信					

新事業
破線：検討・調整中
継続事業
太線：実施

■収集するデータと収集方法

計画目標	収集データ	収集方法
<目標1> 多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	幹線交通利用者数	・各交通事業者が対象となる公共交通の利用者数を報告
	つつじバス利用者数	・運行便別に利用者数(乗降バス停、利用券種別)を調査
	タクシーを活用した助成事業の利用者数	・事業主管課から利用状況入手・整理
<目標2> まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	バス停の整備状況	・バス停の整備状況(案内情報含む)を調査し、整備カルテを作成 ・整備カルテにより現状を把握
	広告収入	・車両、バス停、時刻表等の種別毎の広告収入データを整理
	つつじバス利用者無料証交付数	・障がい者、運転免許自主返納者等への交付数の整理
	パーク＆ライド駐車場利用状況	・福井鉄道(株)が市内各駅のパーク＆ライド駐車場の利用状況を報告 ・JR鯖江駅東口駐車場については、事業主管課から利用状況入手・整理
	公共交通が充実していると感じている人の割合	・アンケート調査で把握
	公共交通集落カバー率 (鉄道、路線バス、コミュニティバス)	・集落カバー状況を整理
	つつじバスポータルサイト (バスどこサービス)アクセス数	・アクセス状況を整理
<目標3> 観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現	バス停の情報案内状況	・上記のバス停整備カルテによって、現状を把握
	レンタサイクル利用者数	・事業主管課から利用状況入手・整理
	つつじバス乗り継ぎ券、回数券の発行数	・乗り継ぎ券、回数券の発行数の整理
	つつじバス学生回数券の発行数	・学生回数券の発行数の整理
	商店街での買い物によるつつじバス無料利用者数	・利用数を整理
	観光施設等の利用によるつつじバス利用者数	・利用数を整理
	SNSを利用した情報発信	・アクセス状況を整理
	公共交通乗務員の接遇向上のための教育訓練の状況	・公共交通事業者が該当する教育訓練の実績を報告
	公共交通利用促進のための市民団体の活動回数	・市民団体の活動回数を整理
	自治会によるバス停の上屋の設置・管理状況	・本市の助成制度活用状況を整理
<目標4> 市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現	タクシーに関する情報発信状況	・タクシーに関する情報発信状況を整理